



「継続は力なり」



吉野川市立鴨島小学校
校長室だより 第35号
令和6年2月1日

学校教育目標：自他の生命と人権を尊重し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成

春はもうそこまで ～^{つぼみ}桜の蕾も春を待ちわびて～

2月（如月）になりました。暦の上では春が始まります。それが「立春（りっしゅん）」です。「立春」とは、二十四節気において春の始まりであり、1年の始まりでもあるとされる日です。今年の立春は2月4日（日）、授業参観の日です。長い冬の後に来る春の穏やかな季節は、昔から変わらない大きな喜びであり、その前日の「節分」は春を迎えるための昔からある大切な風習と言えます。長く厳しい冬が一段落して、春の訪れを待ち望む童謡もたくさんあります。例えば「春よ来い」、「春が来た」、「花（春のうららの隅田川）」などです。ただ、「立春」とはいつても2月は一年のうちでもっとも寒い時期です。まだまだ厳しい寒さが続きますが、休み時間になると外へ出て元気に体を動かす子供たちの姿が見られます。健康に感謝しつつ、体調管理にはくれぐれも気をつけて、この冬を乗り切っていきましょうね！



『 当たり前 のことが 当たり前 に 』 できる 人 に ！

『凡事徹底（ぼんじてってい）』（当たり前のことが当たり前に見えるという意）という言葉があります。本校の子供たちは素直で、よりよく導いてあげると伸びしろの大きい子ばかりです。大いに期待が膨らみます。

さて、人が生きていく上で絶対に守らなければならないルールや相手の思いやる言動は、今も昔も変わることのない不易な「当たり前のこと」であり、普遍的なものであると思います。実際の学校生活の場でそのことを考えてみると、生活のきまりはもとより「挨拶をしっかりとする」、「人の話をしっかりと聞く」、「トイレのスリッパやくつをちゃんと揃える」、「みんなのことを考えて行動する」などがあります。これらのことは集団で生活する上において、どれも当たり前にならなくてはならないことであり、どれもが相手を思いやり、相手の気持ちを考えた心遣いの行動であると考えます。



また、日常の学校生活の中で何気ない当たり前の行動が当たり前になることで生活力や学習力が高まっていくだけでなく、自然と人と人との心が通じ合い、お互いがお互いを大切にできる力も育っていくはずで、そして、やがてはその力が大きな力となり、学校生活や学習環境をより豊かなものにしていくことに繋がると確信しています。

この時期は、年度の学習のまとめと併せて次年度への準備という中身の濃い学校生活となりますが、大きな節目を迎えようとする今こそ、しっかりといい汗をかいてほしいと思います。

私は、本校の子供たちが社会に出て自立し共生社会の中で豊かな人生を歩んでいくためにも、これまで以上に「当たり前のことが当たり前に見える」人間に育ってほしいと願っています。



☆ 今週末2月4日（日）は、今年度最後の授業（発表）参観日 ☆

本年度も残すところ2か月となりました。これからは、今の学年の総仕上げと次年度に向けての大事な毎日が続きます。ご家庭でもお子様への温かい励ましの声をかけていただきますようよろしくお願いいたします。授業参観もお待ちいたしております。

「校長室・学年」だよりは、HPではカラーで見ることができます→



鴨小QRコード